

●CD「神だけが」 ●昼から祈り

今週に入って、ハンブルクもやっと暖かくなってきました。

ハンブルクでは、最近、ちょっとした変化がありました。市内のバスと地下鉄の中で次の停車駅を告げるアナウンスが、小さな子どもの声になったのです。プロのアナウンサーの美しい声もいいのですが、一生懸命に話すかわいらしい子どもの声が聞こえてくると、思わず乗客の顔がほころびます。春をさらに楽しくする、ハンブルクのリフレッシュです。



●CD「神だけが」

4月12日にCD「神だけが」が発売になりました。昨年秋のコンサートのライブ録音を中心に編集したものです。今回のCDは、共演者のアレンジと演奏が実に素晴らしいものです。特に、ピアノの野田常喜さん、キーボードの福永純子さんは、曲の思い、そして私の曲への思いをよく汲み取って、神への賛美の音色とハーモニーを熱心に探求してくださいました。日本人ジプシーと呼ばれる、ロスで活躍するフラメンコ・ギタリストのホセ・タナカさんは、忙しい日本での

コンサートツアーの合間を縫って、夜中まで音合わせに付き合ってくださいました。音合わせでは、全員が納得するまで、一曲数時間、長いものでは8時間ぐらいかかった曲もありました。そのように準備して臨ませていただいたコンサート・ライブ録音です。伝道のために用いていただけますなら感謝です。ご希望の方は、どうぞ事務局までお申し込みください。

**CD「神だけが」** 曲目 1. 安けさは川のごとく(インストゥルメンタル) 2. この手を組んで 3. 信仰と希望と愛(フラメンコ・ギター・ソロ) 4. 来たりたまえインマヌエル 5. 神の小羊 6. 血潮したたる(ピアノ・ソロ) 7. 赤とんぼ 8. 荒城の月 9. 神だけが 10. イスラエル 11. 黄金のエルサレム 12. 私を平和の道具としてください 定価：2,500円(税込み)

●昼から祈り

ところで、最近私の祈りを大きく変えるいくつかの出来事がありました。

ひとつは、ヨーロッパに住む日本人クリスチャンご夫妻に久しぶりにお電話をさせていただいた時のことです。

奥様が受話器に出られると、開口一番にこうおっしゃったのです。「ああ、工藤さん。毎日祈ってました。昨夜も主人と一緒に祈ってたんですよ」。それも、全く普通の口調で、まるで昨日まで一緒にいた人に話すように。それからしばらく楽しくお話しさせていただいた後、最後に「ご主人によろしくお伝えください。」と言うと、「主人はこの一週間超多忙で、夜中帰りの早朝出勤なんです。健康が守られるよう祈ってやって下さいね。」とおっしゃって、電話を切りました。後で気が付きました。このご夫妻は、ご主人がどんなに遅く帰ってきても、寝る時間が短くなくても、夜、共に

祈っていらっしゃるのです。

私の働きも、人の目につかないところで捧げられている、このような忠実な主のしもべたちの祈りに支えられてきたのだ、と思ったら、感謝で一杯になりました。同時に、私の「とりなしの祈り」が、最近、希薄になっていることにも気付かされました。神は私たちの祈りを通して働かれるのですから、自分や AKMM のことばかりでなく、それと同じように人々のためにも、もっと心を込めて祈らなければ、と思いました。「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい」(マタイ 22 : 39) とは、そのことでもあると思ったのです。

もうひとつは先週の話です。

ハンブルクのドイツ人ご夫妻から電話がありました。この老ご夫妻こそ、数十年来、ハンブルクの町中の通りを歩きながら、その地区、通り、家々、通りすぎる人々の祝福のために祈ってこられた祈りの戦士です。私たちの教会がハンブルクのロックシュテット地区で始まった時も、このご夫妻は、その随分前から、この地区にもうひとつ教会が建ちますようにと祈っていたのでした。今、私たちの教会が、ニンドルフ地区の〇〇通りに移ったことを伝えましたら、こうおっしゃいました。「ああ、〇〇通りね。あそこはよく歩いた道です。よく歩いて、一軒一軒のために祈りました」。そして今、その一軒が私たちの教会なのです！

それで、私は、「**昼から祈り**」というのを始めました。ドイツに戻ってから、午前中を祈りと聖書の学びの時に当てていました。でも、3月に入ってから、夜にもそのような時を持つ必要を感じ、午前と夜に時間を分けるようになりました。そして先週から、できる限り、「昼から祈り」をしようと決心したのです。「昼から祈り」は、昼食後、午後のどこかの30分を、とりなしの祈りに当てるものです。始めてみると、30分はあっという間に過ぎるようになりました。「昼から祈り」は、とりなしの祈りだけですが、30分では祈りきれないほど多くの人々が私の心の中を往来するようになりました。また、祈りながら、一人一人のことによく思いを馳せるようになりました。今は、祈りのノートに名前と祈りの課題を書き込みながら、祈りを捧げています。そして、朝、昼、夜と主に祈りを捧げる時を持つことで、主の前にひざまづかない時でも、一日中主に祈っている自分に気付くようになりました。

「祈りとは、あなたが朝から晩までするいっさいのことを、イエス様と語り合いながら行うこと」これは、何年も前から、私の机の前に貼ってあった、ダルムシュタット市のマリア福音姉妹会の創設者、マザー・バジレアのことばです。

最近、やっとこの意味が分かるようになってきました。「主よ、祈ることを教えてください。」(ルカ 11 : 1)

私の祈りの学校は、一生続きそうです。

---

## ●お祈りください

アメリカでのコンサートも間近に迫ってまいりました。私は、5月8日にアメリカに向かいます。あとわずかですので、霊、肉、声すべてに十分な備えができますようにお祈り下さい。予定は、以下の通りです。ニューヨーク、ニュージャージーとメキシコの救霊のために、どうぞ共にお祈りください。NY、NJ にお知り合いの方がいらっしゃいましたら、以下の予定をお知らせしていただ

ければ感謝です。

—5月16日：ウエイル・リサイタル・ホール（カーネギー・ホール、小ホール）コンサート

開演：午後8時 入場料：20ドル（学生15ドル）

バロック音楽、日本歌曲、スペイン歌曲、ゴスペル、聖歌のプログラムに証しを交えてのコンサートです。英語の同時通訳も入ります。演奏する者、通訳者、奉仕する者すべての霊性が整えられ、主のご栄光を現すことができますように。ひとりでも多くの方が、コンサートに集まってくださいますように。そして、多くの方の心に、主ご自身が語りかけてくださいますように。

カーネギーホール・ホームページ [www.carnegiehall.org](http://www.carnegiehall.org)

—5月21日：ニュージャージー日本語キリスト教会 賛美礼拝 午後1時30分から

教会住所：120 East Pleasant Av., Maywood NJ 07607

<http://www.jccofnj.org> 連絡先：錦織 学牧師 [pastor@jccofnj.org](mailto:pastor@jccofnj.org)

—5月28日（日程未確定）：メキシコ・シティー、伝道コンサートのために

どうぞ美しい春をエンジョイなさってください。

次回は、ニューヨークからメルマガをお送りさせていただくことになると思います。

皆様の祝福を心から祈っています。

工藤篤子